



株式会社クロス・マーケティンググループ

2024年6月期 1Q決算補足資料

2023年11月13日

CONTENTS

- 1** 2024年6月期 1Q決算概要
- 2** トピックス
- 3** 2024年6月期 業績予想及び配当計画
- 4** 参考データ

Summary

1

- **売上高56.3億円(前期比8%減)、営業損失0.2億円**
- **販管費は前年同水準に抑制も、売上総利益率低下により減益**

Summary

2

- **デジタルマーケティング**：メディア・プロモーションの受注単価が底打ち
- **リサーチ(データマーケティング・インサイト)**：国内は底堅く推移も、海外における需要一巡を主因に減収

Summary

3

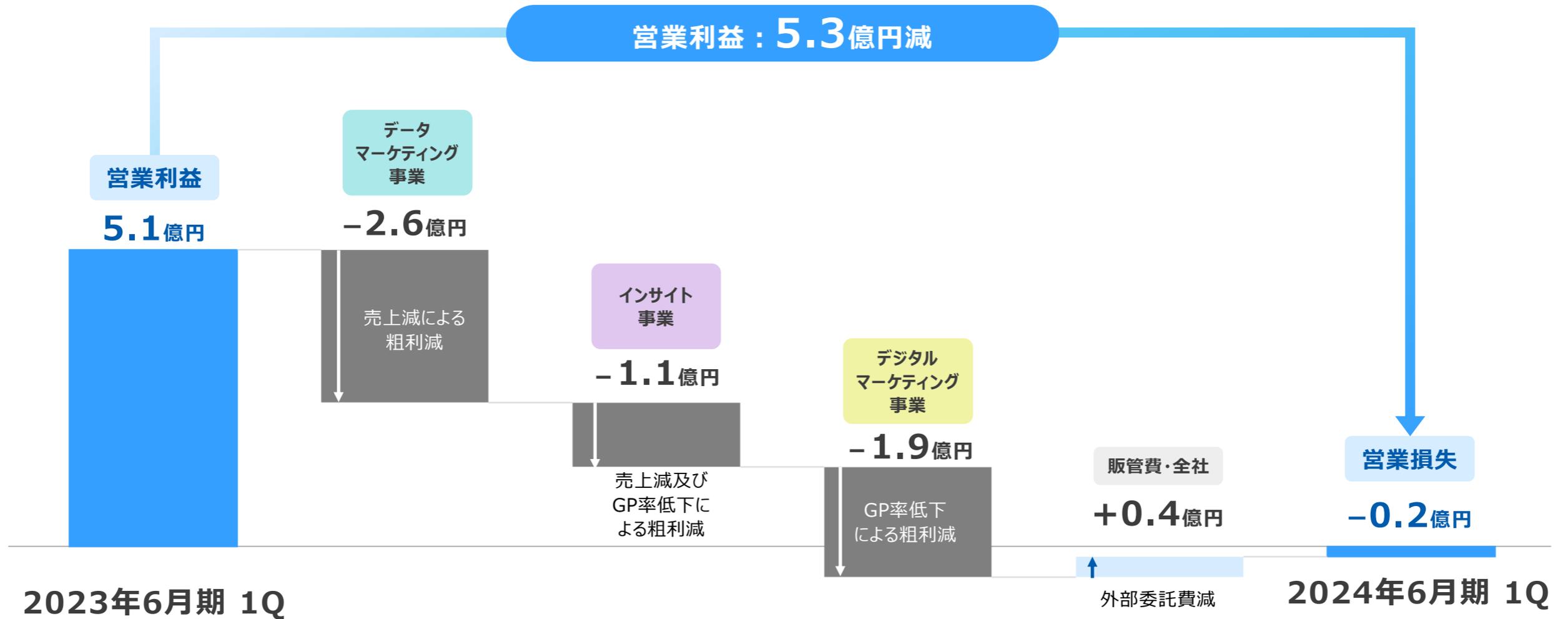
- **24/6期計画**：売上高300億円、営業利益30億円は変更なし

1 2024年6月期 1Q決算概要

データマーケティング事業の減収を主因に、**売上高は8%減**
販管費は横ばいも、売上総利益減により営業損失を計上

	23/6期 1Q 実績	24/6期 1Q	
		実績	前年同期比 伸び率
(億円)			
売上高	61.0	56.3	-8%
デジタルマーケティング事業	22.4	22.0	-2%
データマーケティング事業	22.9	19.6	-15%
インサイト事業	15.7	14.7	-6%
売上総利益 (売上総利益率)	25.9 (42.4%)	20.2 (35.9%)	-22% (-6.5pt)
販管費	20.8	20.4	-2%
営業利益 (営業利益率)	5.1 (8.4%)	-0.2 (-)	- (-)

各セグメントでの減収、粗利率低下の影響により減益
 販管費は前年同期並みに抑制



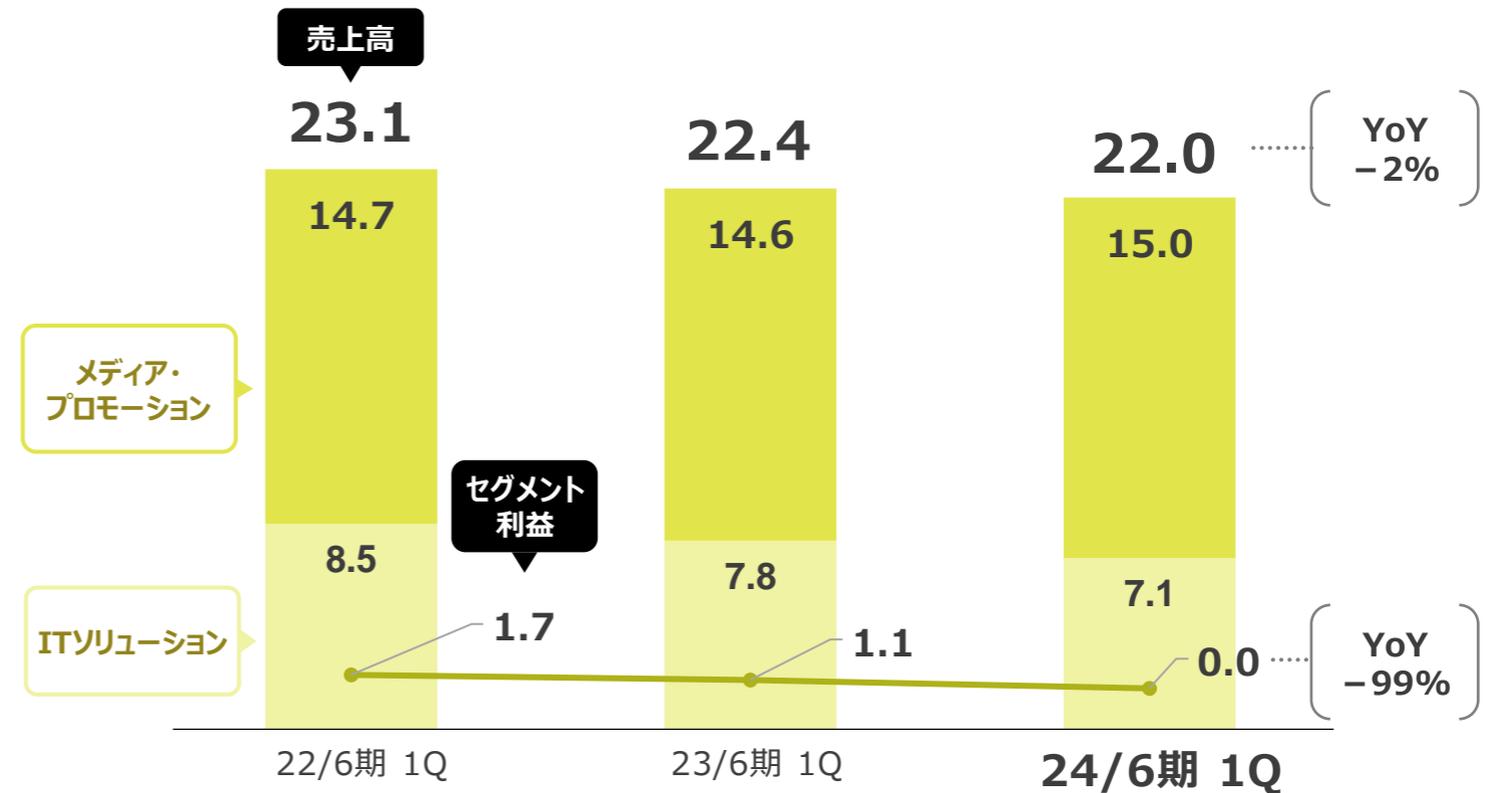
メディア・プロモーションは、受注単価が回復。5四半期ぶりに増収転換 ITソリューションは、受託開発・人材関連が伸び悩み

- メディア・プロモーション：2%増収。新規連結のトキオ・ゲッツが寄与
受注単価はYoY+7%と回復基調

メディア・プロモーション 単価の前年同期比増減推移
23/6期 1Q -9% 2Q -24% 3Q -25% 4Q -2%
24/6期 1Q +7%

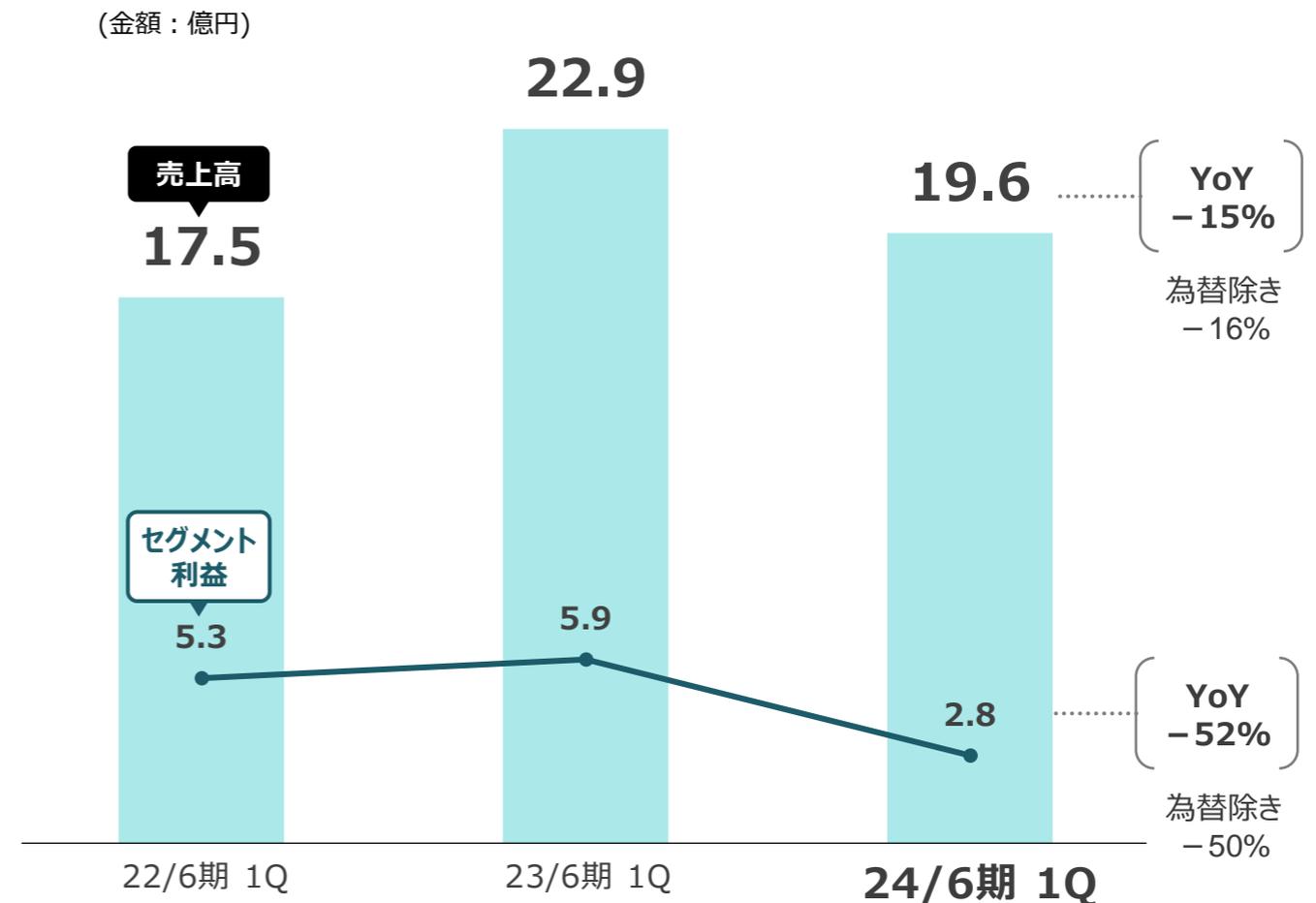
- ITソリューション：10%減収。受託開発や、人材分野が伸び悩み
- セグメント利益減少：サービス構成比の変化により粗利率低下。販管費抑制で黒字確保

(金額：億円)



売上高15%減、セグメント利益52%減
国内は堅調ながら、海外における需要が一巡

- 国内は、リサーチ需要が引き続き堅調に推移し、前期並み
- 海外では、主力の北米において、コロナ禍からの急回復を背景とした需要が一巡
人材基盤拡充により販管費が増加
- 円安効果*¹は売上+0.2億円、営業利益影響は軽微

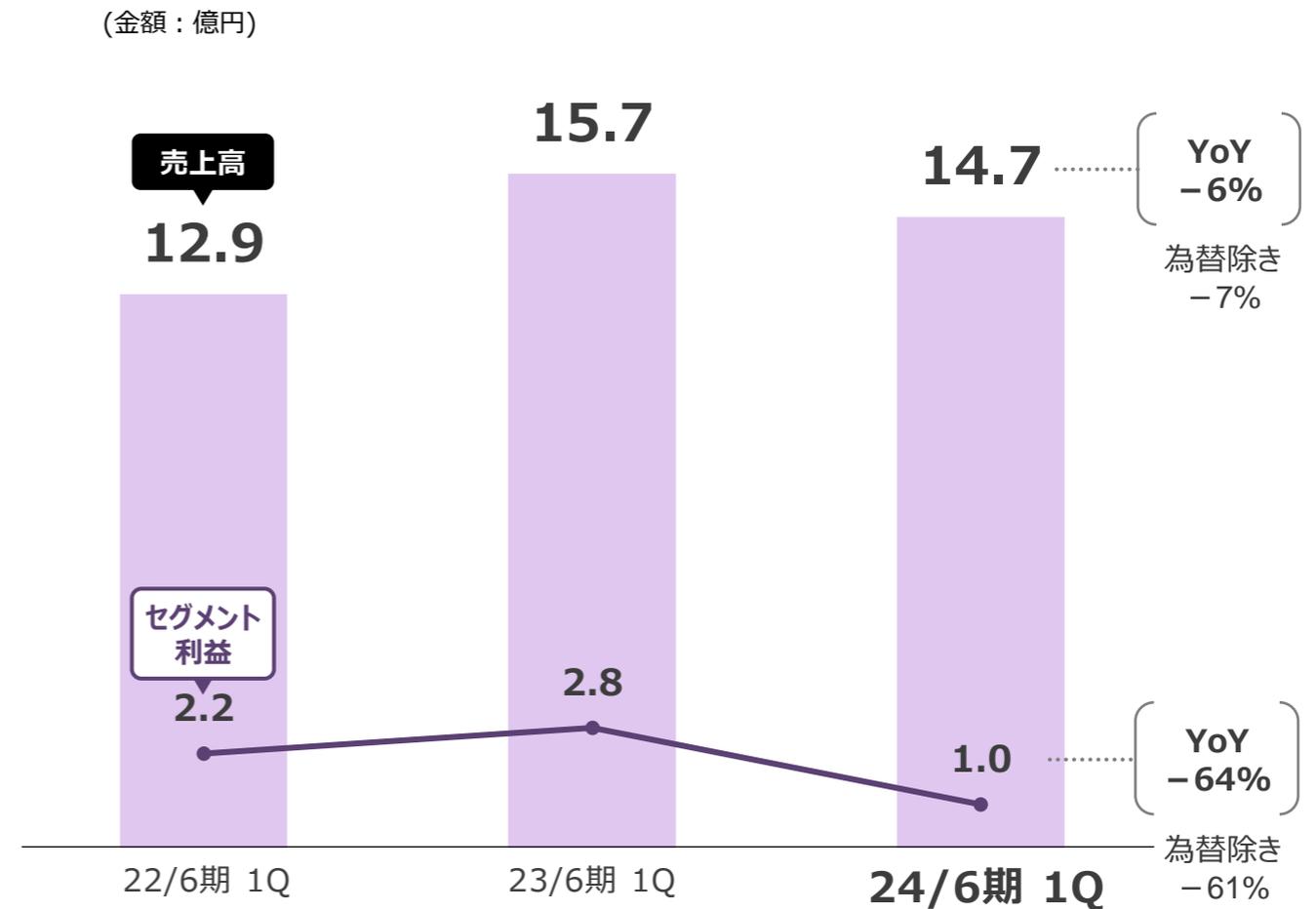


*1 2023年6月期1Qの実績為替レートとの比較

売上高6%減、セグメント利益64%減 国内は前年並みを確保も、海外は厳しさ続く

- 国内では、フルサービスのオンライン調査が増加。一方、医療・ヘルスケア領域の研究は低調な動きが継続
- 海外は、主に英国において苦戦。人件費を中心に販管費が増加
- 円安効果^{*1}は売上+1.1億円、営業利益影響は軽微

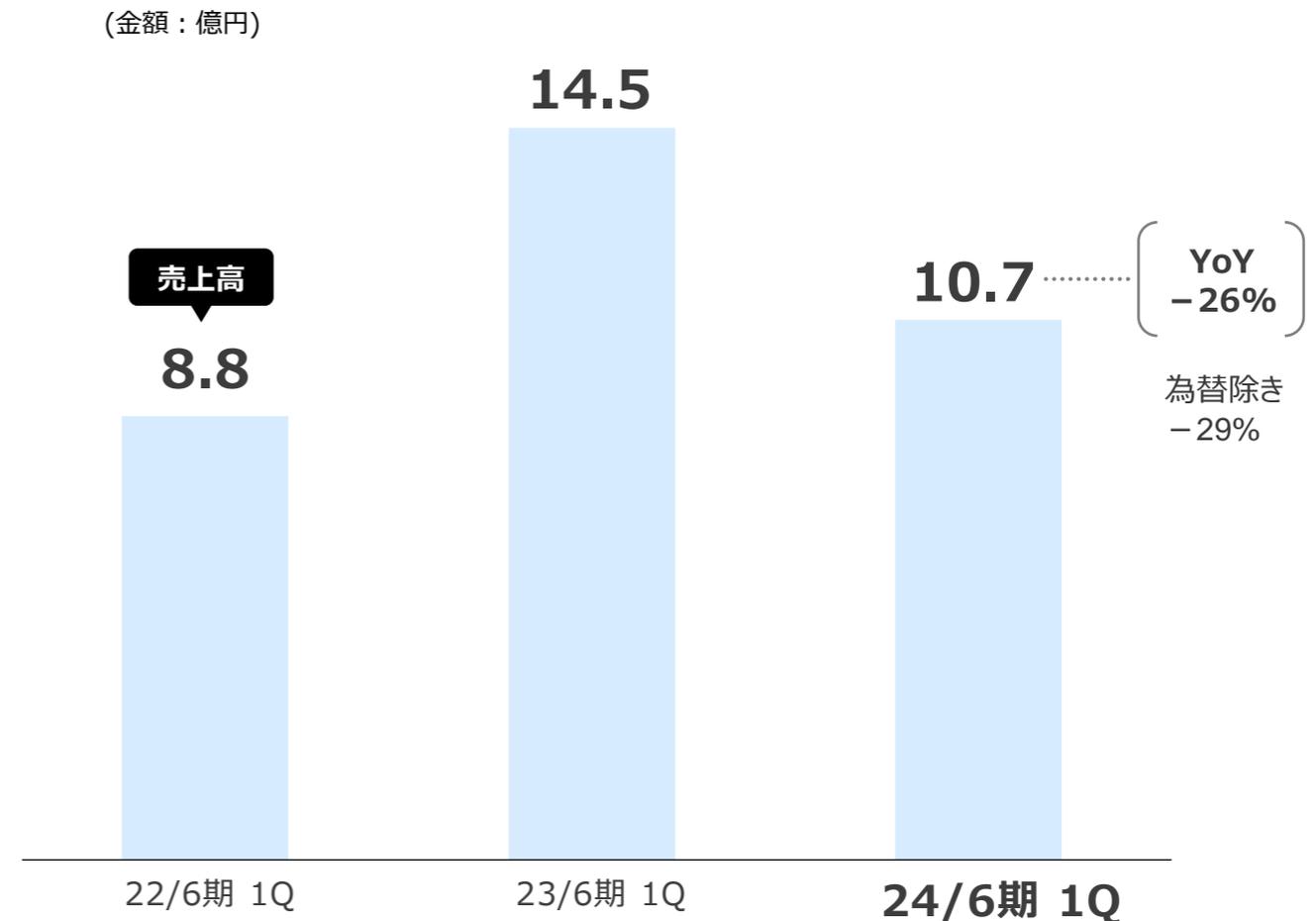
*1 2023年6月期1Qの実績為替レートとの比較



海外事業合計では、需要一巡を主因に26%減収 新興国は成長継続

- ・北米の需要集中が一巡、英国も厳しさ続く
- ・インドは、コンサル・調査会社からの旺盛な調査需要を吸収し好調
- ・インドネシアは、政府系エネルギー、自動車、電機向けなど、業界の偏りなく受注
- ・フィリピン、タイ等も好調ながら寄与度は小
- ・円安効果*1は海外合計で売上高+0.4億円

*1 2023年6月期1Qの実績為替レートとの比較



2 トピックス

Cross Communication 開発・運用支援

大和コネク特証券様のアプリが「2023年度グッドデザイン賞」受賞



大和コネク特証券株式会社のスマートフォンアプリ「コネクト」

特徴

- ・わかりやすい画面遷移
- ・直感的に操作可能なユーザビリティ
- ・オリジナルフォントの開発

評価ポイント

デジタル・ネイティブ世代の投資初心者のお客様に対して、長期資産形成をサポートするために必要な証券サービスの機能をひとつのアプリに集約しながらも、親しみやすいデザイン性と直感的な操作性を実現したこと

ドウ・ハウス 運営のWebサンプリングメディア「モラタメ」と 総合ショッピングサイト「au PAY マーケット」が協業開始



「お試しモニター by モラタメ」の特徴

サンプリングコスト0円でエントリー可能

「au PAY マーケット」内、「お試しモニター by モラタメ」では、モラタメの「タメせる」の仕組みを活用したサンプリングサービスを展開。モラタメの「タメせる」は、商品代の半額程度の送料（お試し費用）を、ユーザー自身が負担することで、商品をお届けするサービス。メーカーは「費用を払ってもこの商品を試したい」と思う意欲的なユーザーへ、配送コストを抑えてサンプリングが可能。

一気通貫なサポートにより、効果を最大限発揮

「お試しモニター by モラタメ」では、商品の認知・理解・トライアル・購入までを一気通貫でサポート。ユーザーの動きを追いながら、トライアルから購入までの効果を最大限発揮。

商品体験後はショップページに誘導し、購入につなげる

「お試しモニター by モラタメ」内で商品体験した後は、「au PAY マーケット」内のショップページに誘導し、購入促進を行う。ユーザーのクーポン利用の状況を追跡することで、どの程度購買に寄与したかを把握することが可能。

3 2024年6月期 業績予想及び配当計画

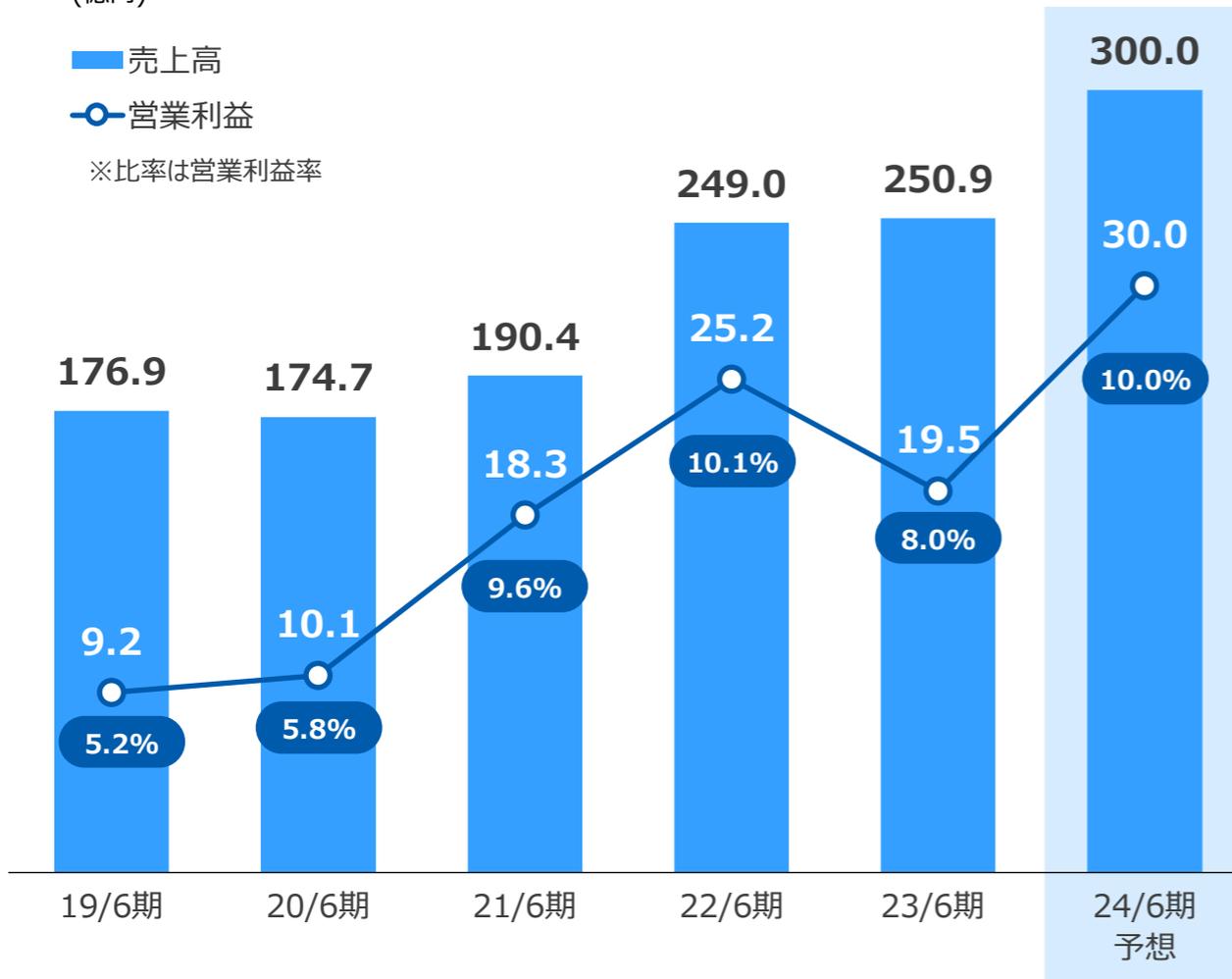
中期経営計画・最終年度の業績目標に変更無し
 売上高300億円(20%増)・営業利益30億円(54%増)を目指す

(億円)

■ 売上高

○ 営業利益

※比率は営業利益率



(億円)	23/6期 実績	24/6期 予想	YoY
売上高	250.9	300.0	+20%
デジタルマーケティング	90.4	120.0	+33%
データマーケティング	97.5	110.0	+13%
インサイト	63.0	70.0	+11%
営業利益	19.5	30.0	+54%
経常利益	18.8	29.0	+54%
親会社株主に帰属する当期純利益	10.0	18.0	+79%
EPS	51.0	90.1	+77%
一株当たり配当 (円)	12.0	13.0	+1.0

商戦期での収益拡大本格化に向けた取り組み 事業再編シナジー、受注単価回復、販管費は抑制

デジタル マーケティング

- ・ 事業再編を通じたシナジー効果を狙う
- ・ 2Q・3Q商戦期での収益拡大本格化に向けて受注活動活発化
- ・ メディア・プロモーションの単価回復に注力。足もとは順調な軌道

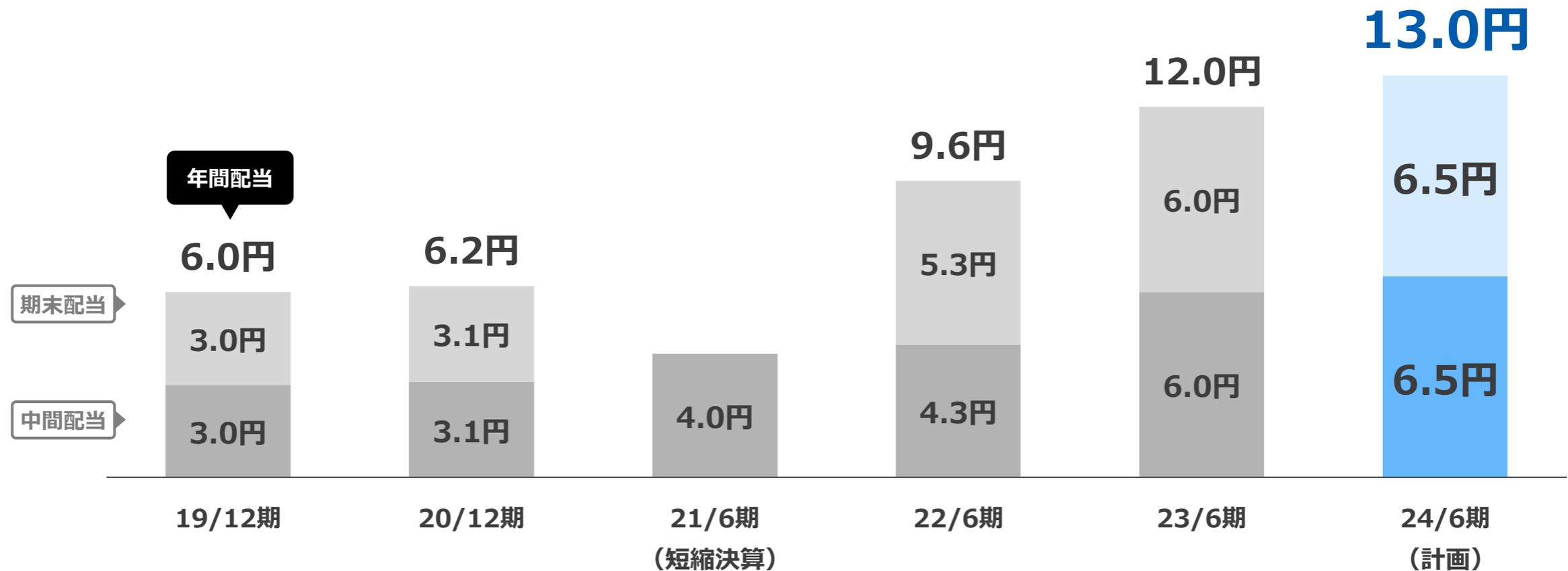
データ マーケティング

- ・ 国内：顧客業種ごとに強弱も、堅実な成長を見込む
- ・ 海外：北米は需要一巡で減収見込み。インドの高成長が持続

インサイト

- ・ 国内：オフライン回復基調の継続、日系企業向けグローバル案件拡大へ
- ・ 海外：英国は引き続き保守的な前提。インドネシアの高成長が持続

配当方針：配当性向15%前後を目安とした継続的な増配
 24/6期通期では13.0円(上期6.5円、下期6.5円)を計画



4

参考データ

エクセル形式の **Fact Sheet** は当社IRサイト(www.cm-group.co.jp/ir)内の[こちら](#)に掲載しております。
どうぞご利用ください。

(億円)	23/6期 1Q	24/6期 1Q	前期比 増減率
売上高	61.0	56.3	-8%
売上総利益	25.9	20.2	-22%
(売上総利益率)	(42.4%)	(35.9%)	(-6.5pt)
販売費 及び 一般管理費	20.8	20.4	-2%
(売上高販管費比率)	(34.0%)	(36.2%)	(+2.2pt)
営業利益	5.1	-0.2	-
(営業利益率)	(8.4%)	(-)	(-)
経常利益	5.4	-0.6	-
特別損益	-0.0	-0.0	-
法人税等	1.9	0.8	-60%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3.3	-1.4	-

- 1 **売上高が減少**
主に、データマーケティング事業及びインサイト事業が伸び悩み
- 2 **売上総利益率が低下**
比較的粗利率の低い事業の売上高構成比が上昇
- 3 **販管費は前期並みに抑制**

(億円)	2023年6月末	2023年9月末	増減
流動資産	112.9	104.2	+8.7
現金及び預金	64.8	52.6	-12.2
受取手形及び売掛金	31.4	33.7	+2.3
その他	16.8	17.9	+1.0
固定資産	30.2	30.0	-0.2
のれん	6.2	5.8	-0.5
その他	23.9	24.3	+0.3
総資産	143.1	134.2	-8.9
流動負債	51.5	47.2	-4.2
買掛金	9.8	11.7	+1.9
短期借入金※	13.4	13.9	+0.5
その他	28.2	21.6	-6.6
固定負債	30.7	28.6	-2.2
長期借入金	27.6	25.4	-2.2
その他	3.1	3.2	+0.1
純資産	60.9	58.4	-2.5
自己資本比率	42.0%	42.9%	+0.9pt

1 現預金は50億円強

前期末比で減少も、事業成長投資、借入金返済への充実に十分な水準を確保

2 のれん残高は減少

連結子会社ののれんの償却が進展

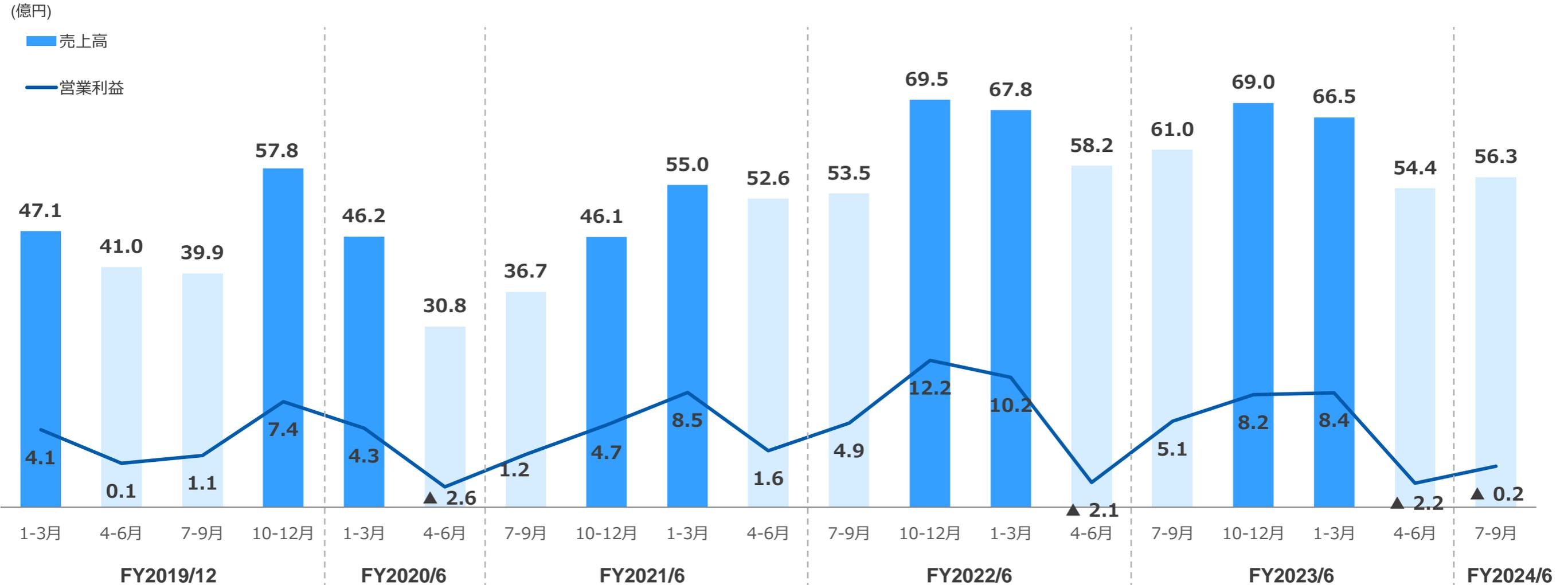
自己資本比率は42.9%

前期末比で小幅上昇、健全な水準を確保

※一年以内返済の長期借入金含む

四半期の収益に季節性あり

10～12月、1～3月が商戦期、4～6月、7～9月は閑散期



本資料に関するご注意

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 クロス・マーケティンググループ IR室
Mail : ir@cm-group.co.jp

Cross Marketing Group Inc.
<https://www.cm-group.co.jp>